

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	大和西高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制 普通科
-----	---------	------------------	---------

1 学校のミッション

- 全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。
教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。
- これまで、世界で活躍できる国際人の育成を目指して、コミュニケーションを重視した学習活動の充実や個別の知識・技能を活用する機会の創出に取り組んできたが、今後はさらに、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成を目指した不断の授業改善等、これからの時代に求められるグローバル人材の育成に向けた教育の充実に取り組む。また、平成28, 29, 30年度の3年間「グローバル教育研究推進校」として研究開発に取り組み、その成果を地域の県立高校にさまざまな機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

- 知・徳・体の調和の取れた、国家及び社会の有為な形成者としての資質を養う。
- 国際社会を通して、幅広く国際社会に貢献できるグローバル人材としての資質・素養を涵養する。
- グローバル化した現代社会を生き抜くための豊かな人間性や社会性を培い、自ら主体的に課題を発見し、その課題解決に取り組む自立した人材の育成を目指す。
- 「国際教育」と「進路実現」を二つの柱として、思考力・判断力・表現力を育成するための不断の授業改善を行い、確かな学力の定着と向上を図る。

3 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通教科・科目を中心に、グローバル社会を生き抜くために必要な資質・能力を育成し、新学習指導要領に対応できる教育課程を編成する。 ・ 思考力・判断力・表現力の育成など「学力の3要素」を取り入れた授業改善に組織的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領や高大接続システム改革に対応し、「グローバル教育研究推進校」として必要な取組を含んだ教育課程を編成する。 ・ 生徒が主体的に学ぶ時間を増やし「アクティブ・ラーニング」型授業を取り入れた授業改善を推進する。また、「大和西ドリカムプロジェクト」により、自学自習時間を増やす取組を各教科で組織的に推進する。

2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立し、生徒の規範意識の向上を図る。 ・部活動と学習の両立を目指し、部活動の入部率をさらに高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からのきめ細やかな指導を継続し、服装・遅刻・交通安全指導等を充実させる。 ・生徒主体の部活動運営を推奨し、自己肯定感を高める取組を進める。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通したきめ細やかなキャリアガイダンスにより、生徒一人ひとりの多様な職業観を育成する。 ・希望する上級学校への進路を、生徒全員が実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間のキャリア教育ブランドデザインを策定し、「ドリームプロジェクト」などの各種講演会を充実させる。 ・模擬試験等の結果分析を組織的に行い、三者面談や進路講演会などを通じて安易に第1希望を変えない指導を行う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の学校や自治会と防災や行事における連携を深め、地域に開かれ、地域とともにある学校づくりを進める。 ・PTAや同窓会との連携を密にし、外部人材や教育力の活用を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の小・中学校への出前授業や部活動交流、地域との防災活動の連携などをさらに推進する。 ・PTAや同窓会との「グローバル教育研究推進」に係る取組の協力体制の拡充を図る。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の課題について職員全体で積極的に取り組み、協働して課題解決に取り組む。 ・事故防止に対する意識を高く持ち、職員が連携して事故を防ぐ体制を整える事故・不祥事0を達成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善や進路指導、高大接続システム研究などの校内研修会を実施する。 ・グループが主体となった事故防止会議を実施し、職員間で声を掛け合い、事故を防ぐよう取り組む。